

## 平成 26 年度 地域医療福祉フォーラムアンケート結果（ご意見）

### 1、基調講演について

#### 《一般の方》

- ◇ 私の姑も最期は家に連れて帰って皆で見る事ができました。今日のお話を聞いて、やはり私たち夫婦の取った処置は、意味のある事だったのかなと少しホッとしました。
- ◇ 患者さんに添った医療、看護を実践してこられたこと。
- ◇ 早口で聞き取り難かった
- ◇ 小さな自治体の現状を踏まえての話で、死について（自分も含めて）どう受け止めるかを考える事が出来た。
- ◇ 解り易い言葉で話して頂き、またこんな患者だけではなく、その家族の方の事も思っ頂ける先生がおられることに感動しました。
- ◇ 具体的な事例で楽しく話して頂いてためになった。
- ◇ 私は高齢ですので、これからの参考になりました。
- ◇ 話し方がテンポよく面白かった。
- ◇ 自分を含め大事な人の最期について、D r の実践に基づいた話が聞けて「今日は来てよかった」と思いました。人生にはガイドラインはないと人の心まで診て寄り添ってくださる。素晴らしい。
- ◇ とても解り易かった。感動しました
- ◇ 先生は少しギャグも入れながら詳しくお話して下さったので、良かったと思いました。
- ◇ 事例を基にした話
- ◇ 人生の終わりを自宅で迎える大切さを事例により講演された事で良く理解できました。
- ◇ 人助けは、徳は自分に預ける（人助けて我が身助かる）
- ◇ 素晴らしい先生の話が聞けました。有難うございます。医療の目だけでなく人として見て頂いている点、情熱等々、名田庄村の人は幸せですね。情けは人の為にならず、心して生活していきたいです。
- ◇ 地域での絆をしっかりと深める事が大切だと感じました。中村先生のようなお医者さんと出会う事が出来るかな。心配です。できないでしょう。
- ◇ このような方が地域にいてくれたらいいと思います。
- ◇ 医療にはガイドラインがあるが、人生にはガイドラインがない。医療のプロフェッショナルとして病気を診ながら、患者や周囲の人の思いを見るご苦労を知りました。
- ◇ 最期はできれば在宅介護でと強く思いました。
- ◇ ありきたりの治療や福祉でなく、人の生き方に視点を置いたドクターの姿勢は素晴らしい。医療や福祉の果たすべき役割は一体何なのかを問い直す。医療福祉を推進する湖北地域協議会が目指すものは何なのかと思う。
- ◇ 事例が身近なものに感じる事ができる
- ◇ 事例をたくさんあげて頂いて「人の死」について学ぶことができた

- ◇ 先生が明るく（?!）人間の最期の過ごし方を話されとても勉強になり、いずれ訪れる自分の死に対しても真剣に考えてみたいです。中村先生のような医師がたくさん育つことを願います。
- ◇ 医療も大切だけど、心のケアが1番ではないかと思います。
- ◇ 体験を通してのお話で、大変感銘を受けた。
- ◇ 最近、死について色々と考える時があり中村仁一先生の講演なども聞いたが、何か少し違っていたが、今日は心に直球を投げかけられた様であり良い時を過ごせた。有難うございます。
- ◇ 自分も同じような最期を迎えたいと思いました。大切な子供に看取られたいと思っていますので。
- ◇ 人間関係・絆を大切にされ、その人其々に適切な関わり方をされて、その地域の方々はその診療所があることで、心強く「家で最期を」と思われると思いました。今は独居で過ごしている人が多いし、その場合はどうしたら？と自身思います。
- ◇ 一人暮らしの人が多いのですがどうしたらよいか？大家族の方のお話ばかりで・・・？  
ハッピー・ハッピー？
- ◇ 大学生です。医療を学んでいます。「病を診るのではなくて人を診る」という事はいつも実習の時の頭においています。如何に地域と医療福祉の連携が大切かと言う事を改めて実感しました。
- ◇ 長浜も地域医療が発展することを願っています。往診して下さる医院が少ないのが心配です。
- ◇ 9つの事例（物語）の基本にあるものは何かを考えました。先生の医者としての医療の対応の選択は、当然の事、人間としての愛とと思いました。今後とも先生の思いを普及させてください。
- ◇ 事例をお話くださって、いろいろな物語として解り易いお話で涙が出ました。
- ◇ 誰しも一番自宅での大往生を望んでいる
- ◇ 小さな診療所だけれども、有能な先生なので素晴らしいと思います。自分の周りの人々を巻き込んで地域医療を進化させていかれたことは立派だと思います。地域の人に助けられたこと
- ◇ 3世代同居で家事一切を任されている。今健康だからできる事を一生懸命に、人生を生き切りたいと思います。ボランティア活動もしています。
- ◇ 心と心の絆
- ◇ 事例を話されとても心に響いた。最期も上手くまとめられて素晴らしい先生でした。
- ◇ でも、私ならそこまで医療機関にお世話にならず痛みだけ除かれ自然死したい。
- ◇ 解り易かった。具体的な事例で
- ◇ 医療とは術と仁と言われた由縁が良く分かった
- ◇ 自己啓発になった。今後、私達にも近いうちに必ず来ることなので準備をしなければ。
- ◇ 温かい、優しい気持ちで患者さんに接して診療にあたっておられる様子が体験されたお話でよく解りました。先生のお人柄に魅かれました。

- ◇ 自分をこの様な「ええ人生やった」と思えるよう具体的なお話（エピソード）で中村先生の思いが伝わり感動しました。
- ◇ 1つ1つの例について解り易く又ユーモアたっぷりにお話して下さり、とても解り易く診療所で研修医を受けられ、その後若い先生が福井に帰ってこられるのは素晴らしい事と思います。

### 《医療関係者の方》

- ◇ 自分が今一番、経験したいこと、やりたいことがまさに先生のされてきたことだった為感動しました。
- ◇ 色々なケースの紹介があり、人生の最後は色々な形での終わり方があるとわかった。「人生の終わり方にガイドラインはない」の言葉が印象的だった。ただ、たくさんケースが有り過ぎて、また紹介も早く専門用語は致し方ないのだろうけど一般市民（特に高齢の方）には解り難いのではないかと思った。
- ◇ とても解り易い
- ◇ 信頼のできる、かかりつけ医と出会っておくことが大事と思っています。
- ◇ 医療職として、どうしても病気をメインでみてしまう事が多く、患者さんの精神面を中々引き出せず仕事しており、先生の話聞き患者さん自身を見ていきたいと改めて思いました。「情けは人の為ならず」を胸に、生活していきたいと思いました。
- ◇ 色々な患者の体験談を聞く事が出来て良かったです。もっと他のお話も聞きたいと思いました。
- ◇ 色々な事例を紹介して下さって色々な人生考え方を知ることができ、医療や看護について考える事ができました。
- ◇ 事例が多く、家族になったような気持ちになりました。
- ◇ 現在地域の診療所に勤務しているのですが、自分たちにできる事はまだまだあるな、やりたいことは限りなくあることを実感しました。地域住民さん、医療側のスタッフ、病院、福祉のすべての人たちが連携を取っていく為には一人一人の絆が大切だという事も学びました。
- ◇ 感動しました。地域医療の世界に入ったばかりの私は、まだ信頼関係も築けていない段階で、一つ一つの行動にも不安を抱きながら仕事をしています。でも、先生のお話を聞いていると、誰もが自分や家族が決定した人生を送っておられ不幸だとは感じませんでした。私もそんなサポートができるようなケアをしていきたいと思いました。
- ◇ 終末期の看取りの事例を通して話して下さり、「生き切った」というその人らしい最期を迎えられてよかったと思う。
- ◇ 医療連携と成り立ちを上手く設立され素晴らしいと思いました。
- ◇ 「情けは人の為ならず」心に染み込。自分は医療サイドで終末期の方に何が出来るかと思っていた。自分がしてもらいたいように、その人らしく生きられるように近づける看護をしたい。病気で人をみるのではなく人生をみる。
- ◇ 疾患ではなく人間を、人をみている点に先生の人間性を感じた。

- ◇ 楽しく聞かせて頂きました。今の姿になるまで大変なこともあったと思います。寄り添うプロセスが大切だと感じました。
- ◇ 病院で過ごされている患者さんを時に〇〇ができない〇〇病の患者さんとみてしまっている自分が恥ずかしくなりました。患者さんとたくさん関わっていきたいです。
- ◇ 今の仕事をしている事に元気を貰いました。「絆」大きな力を貰いました。在宅での補液の選択をどう考えていくかがクリアになりました。本当に面白い楽しいお話でした。
- ◇ 患者の事をここまで考えてくれる医師やNs、地域の方がいるという事が素晴らしいと思います。
- ◇ 気さくで解り易かった。去年は冗談交じりで面白おかしく大ざっぱだったが今年は熱意のある深みあるお話だった。
- ◇ 幾つか症例を交えながら楽しくお話して頂き聞き入ってしまいました。現在病棟で看護師として勤務していますが、在宅に帰るという選択が中々上手くいかないケースが多く、病院や施設を進めるケースが多いです。でも先生みたいな医師がいる地域なら安心して帰していけると思いました。なので、ここ長浜でも行うには地域のスタッフとの連携が本当に大切だなと改めて感じました。
- ◇ 解り易くユーモアを交えた講義で興味深く聞くことができました。患者さん自身の人生に寄り添い、医療だけでなく心のケアも忘れず素晴らしいと思いました。
- ◇ 事実は評価できず。
- ◇ 色々な患者さんの話を聞いて、生きること、死ぬこと、人生について考える事ができた。
- ◇ 症例を挙げながらの紹介が良かった。固い講演でなく、楽しく聞かせてもらいました。
- ◇ 話は身近に感じられました。
- ◇ 患者家族の立場に立って心をくみ取り、医師として何をすべきかを示す姿を見て嬉しく思いました。そのような医師が1人でも増えてくれたらと願うばかりです。
- ◇ 現実的な内容とユーモアある内容でもっとお話を伺えて本当によかったです。
- ◇ 現職場で看取りについて、積極的な取り組みを先生中心に行われていて、とても参考になりました。先生（医療）本人・家族、サービスの関わりの中でやはり「絆」って大切だと改めて思いました。今回の話を聞いて今後の参考にさせて頂きたいと思いました。
- ◇ 素晴らしい在宅医療の場面をたくさんご紹介いただき大変感動しました。長浜・米原でも開業医さんの協力により、どんどん在宅でのケアが進むといいなと思います。最期まで自宅でその人らしく生きるには家族の絆、地域の絆が大切だと感じました。「人生にはガイドラインが無い」との言葉が印象に残りました。
- ◇ 色々な事例を聞いて在宅医療の大切さ、重要性をより実感できた。人間性が素晴らしい先生だと思いました。信頼関係の大切さが伝わってきました。
- ◇ 綺麗な事例のお話が多かったですが、もっと困難事例もあるかと思えます。困難事例をどう対応されたか、失敗されたか教えて頂きかった。

## 《介護福祉関係者の方》

- ◇ 在宅で看取ることは大変な事（介護や生活の煩わしさ）はよく知っています。私も主人を在宅で看取りました。でも、医師・家族・看護師・ヘルパーの連携など、地域との絆で在宅でも大往生できることを知り考えさせられました。中村先生のユーモアを交えた講演に涙しながら聞かせていただいた事に感謝します。また主人の療養中に滋賀医学部の学生が来てくださいました。主人の死後も度々私の所へも来てくださいます。嬉しい思いでいます。どうか立派な医師になってくださるよう祈っています。中村先生の指導などを聞きながら私も思いました。
- ◇ 説得力があった。
- ◇ 事例を挙げての内容が解り易く共感できた。
- ◇ 家族、地域の絆を考えさせられた。定年を前に仕事から地域にシフトチェンジしたいと思う。
- ◇ 老人ホームに努めています。70歳で高齢ですがパートで認知症の方のお世話をしています。自分の身になって。
- ◇ 中村先生の具体的な物語。楽しい言葉を伺いながら惹きつけられました。
- ◇ 在宅医療の事例を通して、患者の満足度を知ることができて良かった。
- ◇ まだまだ、他人事のような人生の最期を迎えるとき、家族を看取るとき、自分の思いや家族の思い、いろいろ考える機会になりました。有難うございます。長浜に中村先生のような医師はいるのでしょうか・・・患者に寄り添って頂ける医師がたくさんいてくれることを願っています。
- ◇ 楽しく聞かせて頂きました。たくさんの事例もあり解り易かったと思います。
- ◇ 特に人生の最終ステージの医療の中で、その人、家族を主眼に置かれている事が素晴らしいと思います。介護に携わる身としている中、医療との連携がうまくいかない現状の中で、是非医師に向けても発信してほしいです。
- ◇ 事例を基に講演して下さり、大変解り易く、楽しく、勉強になり良かったです。
- ◇ 長生きする事のみでの医療ではなく本人の価値観や、思いに寄り添った医療を行うことが人生を全うするという事なのだと共感できた。
- ◇ その人の願いをできる限り叶えるために努力している所、寄り添う心
- ◇ 事例で説明があり解り易かったです。話のように関われば理想だと思った。

## 《行政の方》

- ◇ 地域住民との信頼関係を築き、地域にあった医療を提供されている事に感動した。
- ◇ 自宅で亡くなることの現状（医療や福祉家族の関係）が分かったこと。心が（通じ合う）大切に（何より）あることを知ったこと。
- ◇ 在宅での物語をたくさん語って頂いてイメージしやすく良かったです。先生の話も面白かったです。人柄にも惹かれました。
- ◇ 非常に解り易い話であった。共感できる部分が多く良い話でした。
- ◇ 医療ではなく、医術、人として向き合っておられる姿に頭が下がります。患者と医者で

なく、人とひととして、付き合っておられる事。行政に携わる者として少しでもその手助けをできたらと思います。

- ◇ 大変楽しく聞かせて頂きました。
- ◇ Drは患者さんの治療をすることが仕事ですが、最期を迎える患者さんと家族の気持ちを大事にしておられる姿勢が伝わった。こうした関わり方ができるDrの養成が必要と感じた。
- ◇ 関わっておられた方々の事例をお話いただき、具体的に老いる事や、看取ることを考える事が出来た。
- ◇ 看取り方を教えられた。こんな死に方をしたいと思った。

## 2、シンポジウムについて

### 《一般の方》

- ◇ 仲の良い家族は今の世の中、息子夫婦と別居の家が多いのが殆どで、きれいな事ばかり言っていられない世の中の見直しも必要だと思います。
- ◇ 朗読風のシンポジウムは気が乗らない。
- ◇ 年令的にも合っていたと思います。
- ◇ ご家族から聞く話は説得力がありますね。ご家族だからこそ意地や恥ずかしさがありますが、伝え合う事の大切さをこういった話を聞く度に感じます。
- ◇ 色々な方々の支え合いがあることを初めて実感にしました。
- ◇ すごくいいお話だったと思います。私も自宅で看護してもらいたいと思いました。
- ◇ 在宅看とりはケースの違いがあり、今日のがんの事例ですが長年の介護、認知症など家族にとって難しい看取りの場合どうなるのか・・・
- ◇ 家族で在宅看取りをされた家族の方のお話は感動いたしました。在宅医療も進んでいる事も知りました。
- ◇ 何かあったら病院へと発表の中でありましたが、退院後かかりつけ医があったのか？聞き漏らしたのか？その辺を知りたいと思いました。
- ◇ 病院の親切な対応のあることが分かってよかった。
- ◇ 家族の絆が強く感じられました。
- ◇ 在宅看取りには本人の思いと周囲の思いを調整することが大切。
- ◇ まとめは良かった。シンポジストが泣いてはいけない。
- ◇ 看取られた家族の思い、気持ちも聞いて感動感激しました。
- ◇ 医療の携わるみなさんのお話が聞けたことは良かったです。介護する人の気持ち、介護される人の不安は良く分かるのですがあまりに具体的な報告ばかりで、しかもよいお別ればかりで・・・
- ◇ 家族スタッフがいて、看取れる家庭、又、家族スタッフがなくて看取れない家庭があること、この辺をもう少し話ししてもらいたい。老々介護ではできない事がある。
- ◇ 今日のように内容の濃いシンポジウムを期待しています。
- ◇ とてもモデルのケースで家族はそうありたいし、自分も家族にそう関わってきて看取り

を義父母にしてきたけど、自分はこれからなるべく子供に迷惑を掛けないようどうすればいいかと・・・

- ◇ 先生の献身的な医師として愛の医師でおられ感動しました。いつも患者さんを思わんばかりでスバラシイ。
- ◇ 高齢に達し真剣に考えさせられました。
- ◇ 中村先生のコメントにあった本人の気持ちになって考える事は大切だと思う。今まで多くのシンポジウムで患者の本当の気持ちは取り上げられてないように思う。
- ◇ スタッフ側から見た話が主体であり、良い話ばかりに偏っている。自宅で最期を迎えられなかった話もあるのでは・・・
- ◇ 家族（母）と患者さん（父）の間に入って気苦労されたんですね。
- ◇ 家族の川合さん、お父様は幸せでしたね。家庭で見る看護は医療関係の皆さんの連携が良かったからと思う。
- ◇ 実際の家族の例をとって話されてとてもよかったです。在宅医療考えたいです。
- ◇ 原稿の朗読は分かりづらい。難聴で少し聞きづらかった。事例に生の家族を登場させるのは酷ではないか。
- ◇ 時々やってほしい
- ◇ ご家族の方のお話に胸が熱くなりました。
- ◇ 訪問看護、特に終末医療に長浜でもここまでしてくださるととても嬉しく思いました。

#### 《医療関係者の方》

- ◇ 家族の介護の大変さや心のケアは重要であるが、その上で患者さん本人の思いをサポートとしていく事のむずかしさを改めて痛感し意欲が沸いてきました。
- ◇ 紹介されたケースの内容をまとめたスライドがあった方がよかったのではないかと、又、在宅に戻った後の多職種連携の紹介があれば尚よかったのでは？又中村先生が言われていたが、本人自身の思い（在宅に帰るまで・・・帰ってから・・・）はどうだったのか？という視点も聞いてみたかった。
- ◇ 事例はあまりよく解りませんがご家族の話は良かったです。
- ◇ 入院していた時在宅での情報を知ることができた。様々な職種の連携の重要性を学びました。
- ◇ 退院に向けて在宅での支援が其々関わった方の話を聞くことで実際の支援が分かり良かったです。
- ◇ 「今しかない」退院を逃さない事。その時の医療者の連携の力の大切さを痛感。その時に家族が受け入れられなかったら実にならず、日々、家族とのコミュニケーションが大切だと思います。
- ◇ やはり「家に帰りたい」気持ちは「迷惑を掛けたくない」という気持から言いだせない（特に家族に嫁姑いる時）事は多いと思うが、少し医療チームが介入する事で、本当の気持ちを家族に伝えられるチャンスが生まれる事を聞いて、時に代弁者として家族同士を繋ぐ大切な役割が医療スタッフにはあるなと感じました。

- ✧ 本人の思い家族の思いを聞いてよかった。
- ✧ 事例の大まかなことはパワーポイントで提示してほしい。
- ✧ 本人の思いや家族の思いに寄り添える看護がしたいと強く感じました。病院で、実際に在宅に帰れない人もたくさんと多いので場所は変わらなくてもその場に近づける場を提供できる看取りをしていかなければならないと思った。
- ✧ 家族に見守られて最期を迎えられる人はとても幸せだと思う。(家族も大変だけど) 現実はそのような家族の絆がある家族ばかりではない。そんな人たちの看取りはどうなるのでしょうか。課題です。「末期でも健康に生きられる」心に残る言葉でした。
- ✧ ご家族の方が良く参加して話してくださったと思います。有難うございました。
- ✧ 改めて在宅看取り・・・何でもない家で生活ができる事と認識しました。ご本人の思いを十分に聞ける、家族との調整ができる看護を目指したい。
- ✧ 在宅医も参加してもらえればもっと良かった。
- ✧ シンポジストの其々の方の話が長く解り難かった。会場での意見があると良い。
- ✧ 家族側の意見が聞いてよかったと思いました。
- ✧ 患者さん家族から貴重なその時の思いを聞くことができ、家族だからこそ大事な話ができなかった。エンディングノートの事も知ることができました。
- ✧ 家族の生の声が聞けた。家で生活する事の大切さ、有り難さを再認識した。
- ✧ 家族さんを巻き込んだのシンポジウムで家族さんの思いを聞けた。
- ✧ 私も家で看取ってもらいたいです。
- ✧ 「家で死にたい」と思う人に寄り添ってくれる医師を育ててほしいと強く思いました。そうすればもっと多くの人を在宅で生活できるようになると思います。
- ✧ 1事例を通して解り易い内容でした。
- ✧ 家族の方の感想を直接聞くことができ良かったと思います。
- ✧ 実際にご家族のお話を聞くことで、不安な中、在宅看取りをされた経緯や充実したお父様の最期の10日間、後悔しない時間を過ごされた事が伝わってきました。病院ではできないお家ならではの過ごし方を教えて頂きました。
- ✧ 患者様の話が聞いて良かったです。

### 《介護福祉関係者の方》

- ✧ 訪問看護師の方々には、昼夜に関わらず相談に乗ってくださり、私も本当に心の拠り所になりました。是非、訪問看護の充実性を願い、皆様の心の絆を深めてくださる事を希望致します。
- ✧ 中村先生のまとめが良かった。シンポジウムは実際に在宅介護をしている者にとっては進行具合がレベルの低い内容だった。中村先生のフォローで内容が↑↑した。
- ✧ 私も糖尿病がありインスリンの自己注射しており毎月内科と眼科を受診しエンディングについては3年先、5年先のことを考えさせられた。
- ✧ 医師の関わりがもう少し具体的に聞けると良かった。職員はDrの関わりが良いと家族関係も持ちやすいのではないかと考える。



- ◇ シンポジストの事例は解り難かった。中村先生の話は解り易かった。
- ◇ スタッフ関係者の話が、スライドが無いと良く分からない。家族様の声が聞けてよかった。
- ◇ 娘さんがよくお話しして下さったなと思います。実際のお話が聞けてよかったと思います。
- ◇ 看取りと言う部分では癌、末期のケースとなってしまいますが、自分自身に関わる福祉の部分の中で、ご家族様の思い・ご本人様の思いを実現する事を目指していきたいと思いました。
- ◇ 其々が行うべき役割の内容も判り、在宅看取りの一連の流れが理解できました。具体的な事例が大変興味深く良かったです。家族さんの生の声が聞けたことも大変良かったです。
- ◇ 身近に起こる内容で改めて人生の最後に関わる事として様々な人たちの助け合い等を通してとても安心したように思えました。
- ◇ 其々の役割や関わりが分かった。

#### 《行政の方》

- ◇ 具体的であったこと、本音も聞けたこと。
- ◇ ご家族の話が聞けて良かったです。辛い事を思い出すこともあったと思いますが、お話し頂いてありがとうございました。
- ◇ 生の声が聞けてよかった。
- ◇ 患者さんのご家族の悩みや思い入れ、寄り添いコミュニケーションがとれる人材が必要と感じた。在宅看取りは患者さん、家族との適切なコミュニケーションが取れる事が大事でそのような人材の育成が必要と感じた。
- ◇ 家族の発言が聞けたので有意義でした。
- ◇ 事例に本当の家族を出席させるのはどうか・・・家族の気持ちを話せたいという主催者側の気持ちもわかるがそこまでしなくても良いのではないかと

### 3、人生の最終段階を迎えた時について

#### 《一般の方》

- ◇ 幸い息子夫婦と同居していますので最期は家で頼めるのなら看取ってほしいと帰って頼みたいです。
- ◇ 自分の意思を今からしっかり伝えて大往生をしたいと思う。
- ◇ どういう最期を送りたいかと言う事を考えてみようと思うきっかけになった。
- ◇ 両親の看取りも
- ◇ 先ずは良かったかと・・・次は自分、今から考えて。
- ◇ 地元長浜にも訪問看護のシステムがあることを初めて知り非常に安心しました。
- ◇ たくさんのお話を聞き参考になりそうだったからです。
- ◇ 私は現在 3 人暮らしですが息子は独身（24 歳）結婚したら家を出るでしょう。その場

合、妻に負担は大きく、重い介護は 24 時間の事であり介護、看護師に委ねる時間も限られる。在宅介護はその家族にとって命がけの事であることを知るべき

- ✧ 病院での看取りが最終と思っていましたので、その考えは変わりました。
- ✧ 家族の真実の声も聞けてよかった。
- ✧ 本人の意思を尊重する事
- ✧ 人、其々さまざまな病状ですごく不安な材料はありますが・・・
- ✧ 自分の最期は、自分一人で迎えられる環境が理想。家族も地域の絆もない所で自分自身と向き合う最期を選びたい。ましては医療や福祉のお世話になるなんてまっぴら
- ✧ エンディングノートの活用、死に様と送り様
- ✧ 数々の死の迎え方を具体的にお話が聞けて参考になった。自分の人生の最後の時間をどのように過ごしたいのか心の整理がついた。
- ✧ 何時の時か自宅で大往生、「ぽっくり」を演じたいです。
- ✧ 両親も自宅で死にたいと言っているので支えられるように努力していきます。
- ✧ 最近少し考えられるようになった。
- ✧ 本人の意思をつかむ。
- ✧ 自分の最期の計画を立てるときの参考になると思います。自分の愛を周りにどう発散するのかを今後伝えたいと思う。
- ✧ 自分の心の持ち方に。
- ✧ 今日の事は覚えておこう！
- ✧ 現在かかりつけ医を持っているので最終的な事を先生に話しました。24 時間の訪問看護のあることを聞き安心しました。が決して無理をしない事を思いました。
- ✧ ありのままの人生を送る。
- ✧ 今日は来てよかったです。また夫とも話し合いたいです。
- ✧ 今日のお話を参考に、家族の望むことに少しでも近づけたらなと思いました。
- ✧ とても参考になると思う
- ✧ 中村先生のような先生が身近におられるかどうか。名田庄村の事例は非常に幻想的なケースだと思います。
- ✧ 絆の大切さ、毎日の言葉かけ又地域の方々との話しかけの大切さを学ばせて頂きました。

### 《医療関係者の方》

- ✧ 医学的な事ももちろん大切かもしれませんが、最期まで人と人の繋がりを大切にしたい。
- ✧ 中村先生の最後のコメントが大変解り易くよかった。家にいる役割がある。家族さんの生の声（本音）聞いたのが良かった
- ✧ 祖母を自宅で看取りました。96 歳自然に・・・笑って眠るようでした。病院の Dr から何故入院させなかったのか？責められました。間違っていたのかな・・・
- ✧ 家族が涙しながら話して頂きありがとうございました。家族や自分自身が終末期になった時、どうしたいと言えるようになりたいです。

- ◇ 今後、家族が看取りの状態になった際どう過ごしたいか、元気な内から話す事も大切だと思いました。
- ◇ 今はまだ遠い未来のような気がしますが突然の発症（告知）でショックが大きくなならない様に家族で話し合いの場を持つことが大切だと思います。
- ◇ 約2週間前、肺がんの父を自宅で看取りました。今でもこれで良かったのかと治療の事、介護の事、悩むことがたくさんありましたが亡くなる1週間前認知の父が言ってくれた「幸せだった」の言葉と今日の講演で「これで良かったのだ」と思う事ができました。有難うございました。
- ◇ 私は4世代同居です。本当の所、姑たちと死に様について話しにくいのも事実です。思い切って話してみようかな・・・
- ◇ も少し良い時期に在宅療養をできないかと思う事が多くあります。
- ◇ 最後の時期は色々な準備があるので教えてもらいたい。最初ががん告知を受けた時に、そのような質問の項目があれば伝えやすいと思う。
- ◇ 家族の看取りは千差万別、その家族、家族によって違うと思う。その時々、色々な支援が必要であると感じた。
- ◇ やはり、かかりつけ医を持ち、先生とコミュニケーションを普段から持つことが大事だと改めて思いました。
- ◇ 家で好きなように時間を過ごさせてあげたい。病院ではわがままな態度は取れないと思うから。
- ◇ 子供の頃は家族が皆集まり、見送り、今はそれができない淋しい終息である。今日の話は少し良かった。
- ◇ 自宅で安らかに眠りたいと思うが、講演にあったような医療者→ケアマネ→社協などの連携が我が地域で迅速に対応してもらえよう、システムアップしてもらいたい。
- ◇ 私の本当の気持ちを大切にしたい。
- ◇ 多くの看取りを経験しているので冷静に判断できると思っています。
- ◇ エンディングノートを自らも書き周りの人にも勧めたいと思います。年齢に寄らず、必要かなと思います。
- ◇ 人生の最期は、やはり住み慣れた場所で「ええ人生やった」と思ってもらえる最後にしていきたいと思いました。

### 《介護福祉関係者の方》

- ◇ こまなく知る為にはこのような医療関係者の方々の知識が困った方々の出会いの時に即、教えて頂ける事が必要だと思います。私もヘルパー活動しています。少しの知識しかありませんが、私が出会った困難な方々に会うと地域支援センターに対応しています。（民生委員の方を通じて）私も人生最終の時は「情けは人の為ならず」をもっとうにしてヘルパー活動をしていきたいと思っています。
- ◇ 自宅での死も悪くないかな・・・協力者があることを信じて。
- ◇ 多分、病院か在宅か最後まで迷うと思う。

- ◇ 時代は目まぐるしいほど変わっていますので、いろんなことを参考にしているいろんな人の意見を聴いて自分なりにエンディングを考えたい。
- ◇ 仕事の面でも参考になりました（ケアマネをしているので）
- ◇ その人の想いを大切にしたいと思います。又、その人に協力できる自分でいたいと思います。
- ◇ まずは本人の想いを大切に考える事が大事という事が参考になりました。
- ◇ 人生の残りわずかな時間を自分たちにとっても、また家族にとっても有意義なものであったと思えるよう、その時を迎えたいと思うようになりました。
- ◇ 頑張り過ぎない。こだわらない。普通にする。3つのポイントを話しされ救われた。
- ◇ いざその場面になったら不安だと思えるけれども参考にできたらいいなと思いました。

### 《行政の方》

- ◇ 私自身が健康で、もし妻が悪くなった場合は可能な限り介護したい。体力が無くなれば施設へ。
- ◇ 本人の希望を大切に、医療や環境を整えていきたいと思います。
- ◇ ケースバイケースであると思うが、そういう事を考えるきっかけになった。
- ◇ エンディングノートで思いを聞くように努めようと思った。

### その他、今後のフォーラム開催の希望など

#### 《一般の方》

- ◇ このようなフォーラムがあることをもっと一般の地域社会の人にもPRして今後ますます入院の受け入れが限られてくることが予想されますので家で看取る必要を広めていっていただきたい。
- ◇ フォーラムの事を市民一般の人々にもっと知らせてください。
- ◇ 重度認知症の介護の仕方（地域での見守り方）を教えてください。
- ◇ この様なフォーラムに参加されていない人、もったいないですね。多くの人に参加されるようPRをお願いします。命は医療の効果だけではないとつくづく思いました。
- ◇ 地域医療や地域福祉の機能が確立された地域社会とは一体どの様なものなのか、個人の生き方を保障させる社会なのか
- ◇ たまたま長浜市に仕事で見かけたチラシなので、次回開催の案内も欲しい。
- ◇ 中村先生の講演を再度伺いたい思いでいっぱいです。先生の著書を読みます。貴重なお話をありがとうございました。
- ◇ この様なフォーラムを継続してほしい。
- ◇ 今回初めてですが。身近な話をお願いします。
- ◇ 介護をすることの大切さを、高齢になって介護を受ける方は色々地域医療センターで、独居老人も多くいるので一人では、こんなサポートがあることも教えて頂きたいと思います。

- ◇ 医療における人の心の問題、患者の立場から病気になった後の人生の目標（QOL）について
- ◇ 家族で看取れる環境の人は良いが・・・
- ◇ 家族や自分に、参考になるようなお話を聴けるチャンスが少しでも多くあればと希望します。
- ◇ 空席がありこのように素晴らしいフォーラムにもっと多くの人が参加されることを希望します。素晴らしいフォーラムに参加させて頂きありがとうございます。

### 《医療関係者の方》

- ◇ 本日のような体験事例などの生の声や、お話が聞けるようなフォーラムにしてほしいです。
- ◇ 季節柄、会場が少し寒かったです。地域福祉医療なのになんで長浜病院の職員さんだけなのですか？ケアマネジャーさんからもお話を伺いたかったです。
- ◇ 在宅での看取りは、本人の意思や家族の想いを繋ぎ大変素敵なことだと感じましたが、在宅ではなく、急に運ばれて状態が悪く自宅では看取りが困難な際の短い時間に対する、患者や家族のより良い看護、接し方を知りたいです。どうすれば家族は患者の死を受け入れ短い最期の時間を医療者に対し感謝できるだろうと思います。在宅看取りは患者と十分に過ごす時間があるので良いなと思いましたがそうでない方もたくさんいます。
- ◇ リハビリ、転倒予防について
- ◇ 「がん哲学外来」を行っている順天堂大学 桶野興夫先生（教授）を是非お願いします。
- ◇ がん哲学外来の桶野興夫先生の講義を聴きたい
- ◇ 駐車場の充実、医師・看護師・医療関係者の参加が少なすぎるので、もう少し広報に力を入れるべき。
- ◇ 貴重な講演の機会をありがとうございました。
- ◇ フォーラムとして最後のご家族の発表は、長く話す様なことでなく短くしてほしい。会の意思是良く伝わっています。

### 《介護福祉関係者の方》

- ◇ このようなフォーラムに参加できて感謝しています。是非次回も参加させて頂きたいです。チラシ・ポスター・市の広報など広く地域にわかる様にご配慮くださることを希望致します。
- ◇ 在宅介護者の身になった内容
- ◇ エンディングノートを実際に記入してみて自分の人生とは何だったのだろうと考える機会になりました。
- ◇ 会場が寒すぎて辛かった。
- ◇ 認知症の地域での生活支援について取り上げて頂きたい。

## 《行政の方》

- ◇ 時間的長さも丁度良く内容も時代に即して大変良かったと思います。続けて開催をお願いします。
- ◇ エンディングノートを親に書いてもらうための手法、言葉かけ、おまじないを教えてほしい。いい時に携帯が鳴っている。マナーモード、切り方を知らない人がいるのではないか？最後に質問したかった。質問したい人もいたみたいだった。後ろで質問聞いてくれないの？という声が聞こえた。今、家に帰るチャンスの見極め、意思表示をしている家族だけ・・・すべての患者に意志を確認するのか？患者はいつが家に帰るチャンスなのかわからない。

### ～あとがき～

たくさんのご意見をありがとうございます。本日、地域医療福祉フォーラムにスタッフを含めると 240 人の方が参加され、144 人の方からアンケートの回答を頂きました。このフォーラムのご意見をまとめて感じたことは、皆さんに同じことを聞いていただいても、受け止め方や感じ方は其々違うのだなと改めて思いました。また、年齢とエンディングノートの必要性について相関関係があるのかなと思いましたが、其々の年代から 60～70%の方がエンディングノートは必要と回答され、このアンケート結果からは双方の有意差は見られませんでした。参加された方の人生観や生活環境、介護経験や看取りの体験などが年齢に関係なく影響しているのでしょうか。11月は滋賀の医療福祉を守り育てる月間です。毎年11月の休日に、皆さんのご意見を参考に地域医療福祉フォーラムを計画していきたいと思っています。チラシやポスター、市の広報などを使って、広くご案内していきますので、来年も地域医療福祉フォーラムにご参加くださいませ。

尚、今回は長雨のため、臨時駐車場（公園の運動場）がご利用できずに、大変ご迷惑をお掛けし、深くお詫び申し上げます。

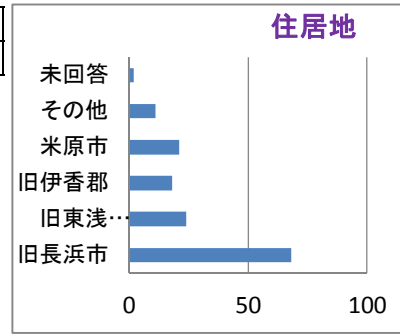
長浜米原地域医療支援センター  
担当 今井享子

# 平成26年度:地域医療福祉フォーラムアンケート結果

- 日時 11月1日(土)13:30~16:30
- 場所 長浜文化芸術会館
- 参加数 240人(内スタッフ29人) アンケート回答数144(回収率68%)

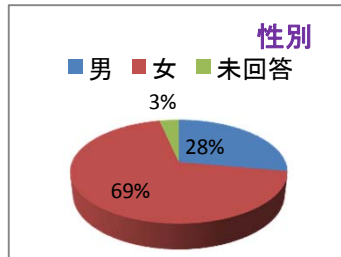
## 1、住居地

旧長浜市	旧東浅井郡	旧伊香郡	米原市	その他	未回答
68	24	18	21	11	2



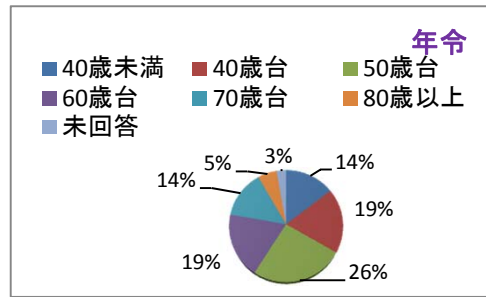
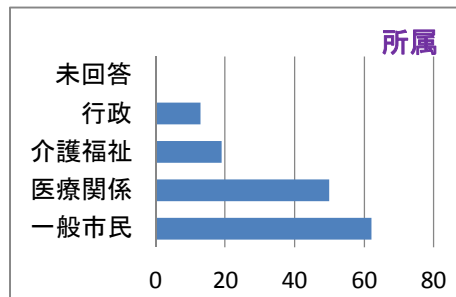
## 2、性別

男	女	未回答
40	99	5



## 3、年齢

40歳未満	40歳台	50歳台	60歳台	70歳台	80歳以上	未回答
21	27	37	27	20	8	4

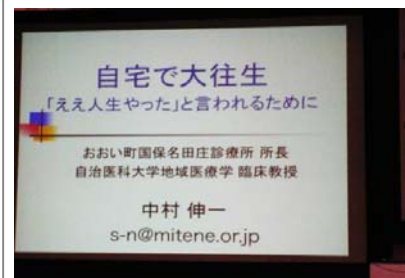
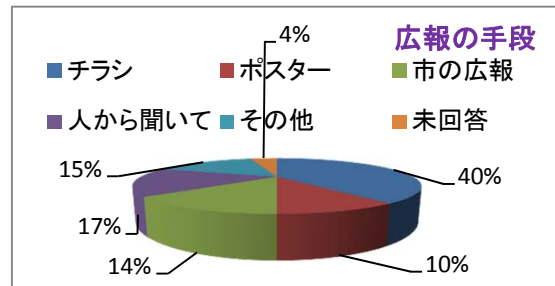


## 4、所属

一般市民	人数
62	
医療関係	人数
50	
介護福祉	人数
19	
行政	人数
13	
未回答	人数
0	

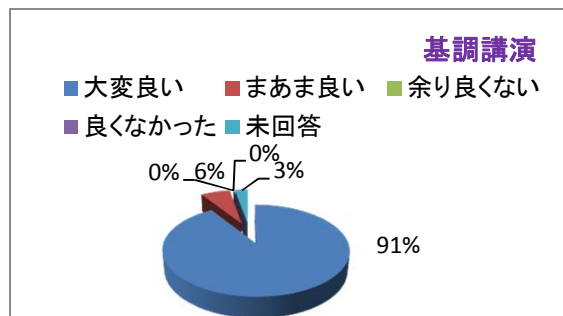
## 5、広報の手段

チラシ	人数
57	
ポスター	人数
15	
市の広報	人数
20	
人から聞いて	人数
24	
その他	人数
22	
未回答	人数
6	



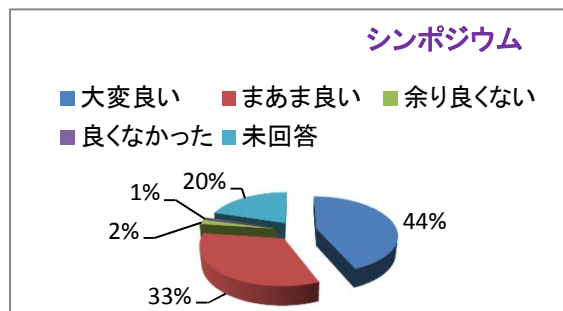
## 6、基調講演

大変良い	人数
131	
まあ良い	人数
9	
余り良くない	人数
0	
良くなかった	人数
0	
未回答	人数
4	



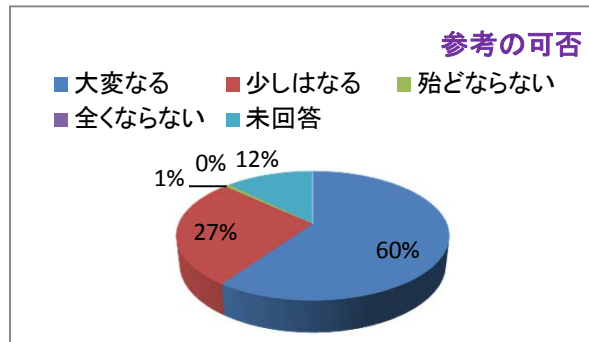
## 7、シンポジウム

大変良い	人数
63	
まあ良い	人数
48	
余り良くない	人数
3	
良くなかった	人数
1	
未回答	人数
29	



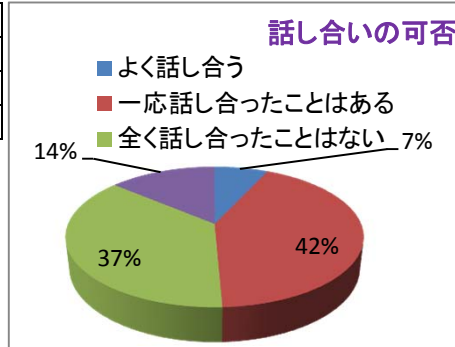
8、人生の最終段階を迎えた時に今回の内容は参考になったか

大変なる	86
少しはなる	39
殆どならない	1
全くならない	0
未回答	18



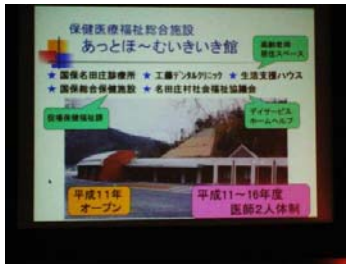
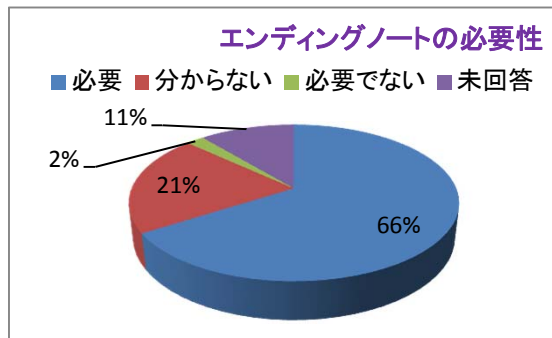
9、人生の最終段階における医療について家族と話し合った事はありますか

よく話し合う	10
一応話し合ったことはある	61
全く話し合ったことはない	53
未回答	20



10、意思表示の書面(エンディングノート)を作成しておくことは必要だと思いますか

必要	95
分からない	30
必要でない	3
未回答	16



11、エンディングノートの作成状況は

作成している	14
作成していない	116
未回答	14

